



主郭北側の土橋から見た日野城の土塁跡。堀切と思われる部分には橋が架けられ、両側に稲荷神社、涼橋(りょうきょう)神社が祭られている。



日野城跡

伝説と歴史の舞台を歩く

DATA 蒲生郡日野町

- 歩行距離▶約3.5km
- 歩行時間▶約65分

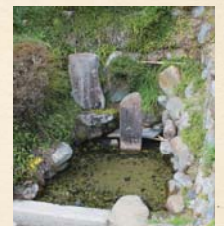
本能寺の変で信長一族を守った蒲生氏郷

映画『るろうに剣心 京都大火編／伝説の最期編』の決闘場面のロケ地として話題になったのが日野町の日野城跡(中野城跡とも呼ばれている)。堀切の両側に積み上げられた石垣が、スクリーンの中で独特の趣を醸し出していた。

日野城は戦国武将、蒲生氏郷の祖父・定秀が天文2(1533)年から3年かけて築城、城の西側は町割りの施された本格的な城下町として発展した。氏郷はこの城で産声をあげたが、戦国の世にならい、13歳のとき織田信長に人質として出され、やがて才気ある武将となって頭角を現していく。

そして、事件は起こった。本能寺の変である。信長を討つた明智光秀の軍勢が安土城

蒲生家代々の菩提寺である信楽院には、氏郷の遺髪塔があり、この寺から200mほど離れた地藏堂の下には「若草清水」がある。利休七哲の一人に数えられた氏郷が、茶の湯にこの水を使ったといわれている。文武両道に優れた氏郷のもうひとつの顔がここにある。



若草清水(日野町村井)

に追った際、留守を預かる父・賢秀と氏郷は信長の妻妾一族を日野城に迎え入れ、光秀を迎え討とうとしたエピソードは有名だ。

その後、豊臣秀吉の命で氏郷は伊勢に移封、関ヶ原合戦後に日野城は廃城となった。徳川の治世になると市橋長政が仁正寺(のちの西大路藩主と

なり、城内に陣屋を構えた。日野川ダムの造成で土塁など大部分が壊されたが、わずかに残された主郭や堀の遺構に往時を偲ぶことができる。

城跡の近くには「蒲生氏郷公産湯の井戸」がある。馬見岡綿向神社、信楽院など蒲生家とゆかりのあるスポットも訪ねてみたい。



- モデルコース**
- 日野川ダムロバス停 10分、日野城跡 5分、日野川ダム親水公園 20分、馬見岡綿向神社 15分、信楽院 2分、若草清水 2分、標(しめ)の松塚 8分、西の宮バス停
- ※移動時間は目安です(見学時間等含まず)。
※JR近江八幡駅から「北畑口」行きバスで「日野川ダム口」まで約50分

バックナンバーをKEIBUNホームページ「湖国滋賀ウォーキングマップ」で公開中!
<http://www.keibun.co.jp>



“Walk on”とは「歩き続ける」という意味の他に、舞台をちょっと歩くだけの通行人のような「端役」の意味があります。多彩な伝説や物語をもつ歴史豊かな「近江」という舞台を、登場人物のひとりになった気分で歩いてみてはいかがでしょうか。